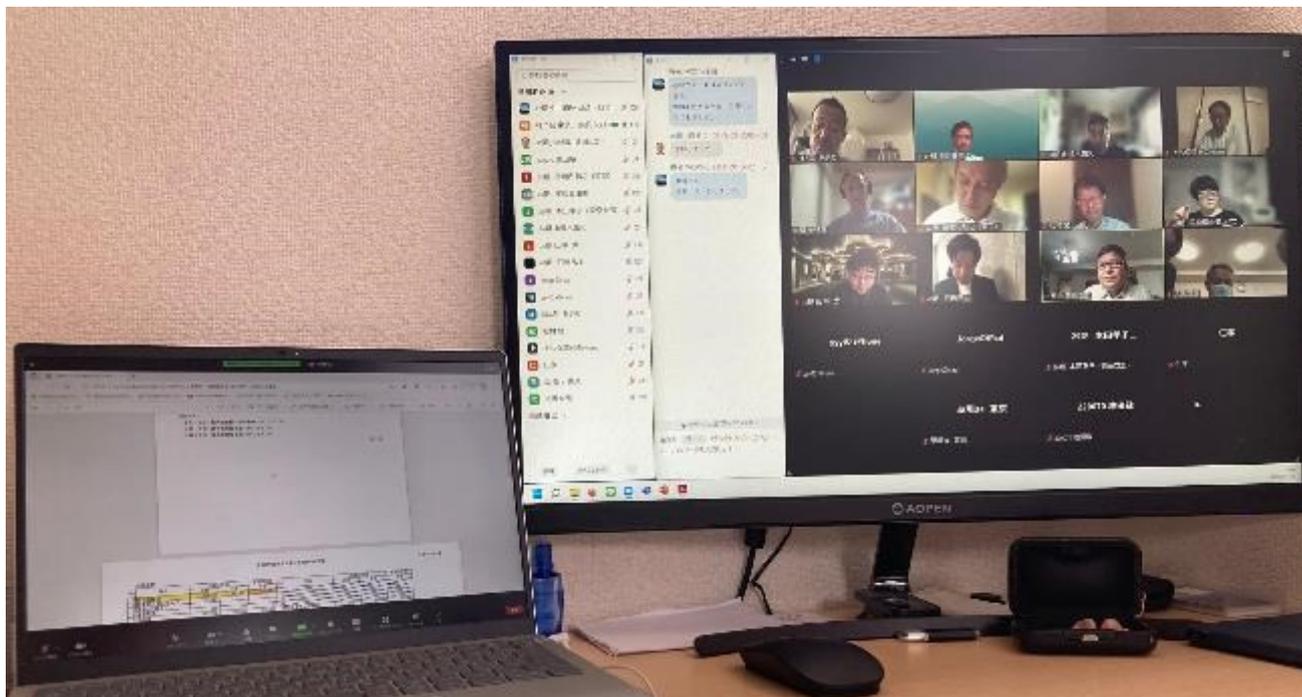


## ■東京支部活動の報告

### ①代議員会を開催しました。

令和4年4月23日(日)、新年度のスタートに当たり、代議員会を開催いたしました。  
オンライン会議での開催でしたが、18名の方にご参加いただきました。



### ② 今後の支部予定

- 5月14日:財団・柑芦会・理事会総会 場所:大阪
  - 月○日:第22回鎌倉歴史探訪歩こう会「鎌倉殿の13人」ゆかりの地
  - 5月13日:春季ゴルフ会 場所:川崎国際生田緑地ゴルフ場
  - 7月中旬:代議員会報告、支部総会&懇親会案内状発送 業務委託)
  - 9月24日 ごろ 東京支部総会&懇親会 場所:損保会館
  - 10月 現役学生との交流会(和大ホームカミングデー)
- ※その他の予定は日程が決まり次第ご連絡致します。

## ◆和歌山大学 ニュース

### ① 硬式野球部第71回全日本大学野球選手権大会出場に係る支援のお願い

硬式野球部は、この度、近畿学生野球連盟2022年春季I部リーグ戦で優勝し、第71回全日本大学野球選手権大会に出場することとなりました。第66回大会に初出場を果たして以来、昨年の第70回記念大会への出場に続いて、3回目の選手権への挑戦となります。この成果を成し遂げられた硬式野球部部員の皆さんの努力を讃えるとともに、関係者の皆様のご尽力、そして活動を支援していただいた皆様のご厚誼に衷心より御礼申し上げます。

【ご支援(寄付)のお願いについて】はコチラ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022051100049/>

## ②【システム工学部】NHK・Eテレ趣味の園芸「いきものパラダイス」で養父志乃夫教授が講師を担当

5月から放送予定の新シリーズ「いきものパラダイス」において、和歌山大学システム工学部環境デザインメジャーの養父志乃夫教授が講師を担当します。

「いきものパラダイス」は、庭に蝶や鳥などいきものたちを呼び込み、生物多様性が豊かになる庭づくりのノウハウを伝えていくシリーズです。5月から12月まで、「趣味の園芸」で6回に分けて放送する予定です。

詳しくはコチラ <https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022041900048/>

## ③【教育学部】第35回和歌の浦干潟観察会のご案内<5/29(日)>

ハクセンシオマネキ(絶滅危惧2類)やチゴガニの求愛行動、コメツキガニの砂団子、水際に群がるヤドカリ類、テッポウエビ、近畿圏では他では殆ど見られないイボウミナナ(絶滅危惧2類)など、たくさんの生き物を観察できます。

●日時:2022年5月29日(日)、10時~12時

●観察予定地:観海閣(妹背山)周辺の干潟 和歌山市和歌浦中3丁目4-28

詳しくはコチラ <http://www.wakayama-u.ac.jp/edu/news/2022051000387/>

## ④【観光学部】「日本国際観光映像祭バーチャルツーリズム部門イベント」

国連世界観光機関(UNWTO)認定の国際観光映像祭ネットワークCIFFTに加入する映像祭の一貫として、「日本国際観光映像祭バーチャルツーリズム部門イベント」が開催されます。

バーチャルな観光コンテンツとは言っても、その定義は決まっておらず、環境映像、ツアーガイド的作品、ライブ中継からメタバースまで、、、そもそも、どんなコンテンツがどこにどのように存在するのか?日本各地からエントリーされたコンテンツから、それらを明らかにしつつ、作品の上映、視聴を通して、将来のバーチャルツーリズムの未来を共に考え、語り、交流する場として、開催いたします。

詳しくはコチラ <https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2022051000042/>

## ⑤【令和5年度設置予定】大学院観光学研究科 観光地域マネジメント専攻(専門職大学院)

※設置計画・概要等は令和4年3月時点のものです。予定のものであり、今後の検討により変更になる場合があります。

和歌山大学では、新たに「和歌山大学大学院観光学研究科 観光地域マネジメント専攻(専門職大学院)」の設置を構想しています。これまで培ってきた観光学の教育研究の叢智を結集し、新たな時代の観光地域マネジメントを先導できる高度専門職業人を養成すべく、観光地域マネジメント専攻(専門職大学院)を設置します。

詳しくはコチラ <https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/news/2022042500018/>

## ⑥【岸和田サテライト】5/18(水)第136回わだい浪切サロンのお知らせ

近年、地域における独自の・個別的な活性化が必要とされています。その1つの手段として観光を用いた経済的活性化が注目を集めていますが、それはどのようなことなのでしょう?それを行うためにはなにが必要なのでしょう?岸和田市の現状を踏まえて皆さんと考えてみたいと思います。

タイトル | 地域と観光 - 岸和田の未来を考える -

話題提供 | 竹林 浩志(たけばやし ひろし)さん(和歌山大学観光学部准教授)

日時 | 2022年5月18日(水)19時~20時30分

開催方法 | 南海浪切ホール1階多目的ホール会場およびオンラインのハイブリッド開催

定員 | 会場(南海浪切ホール):15名程度 オンライン:80名程度(いずれも先着順)

詳しくはコチラ <https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/news/2022041900055/>

俳句の会「芦火」第 699 号 令和4年 5月号

創刊、昭和38年、600号以上を発行。会員約20名が毎月投句、選句。上手下手を問わず俳句を楽しんでいます。紙と鉛筆と歳時記で、花鳥風月を楽しんでみてはいかがでしょうか？

発行人：山下勝様 経済学部 14期 yama723@nifty.com

「芦火」連絡先：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-7-2-301 TEL : 096-382-4767

今月の表紙

葉  
桜



柑  
蘆  
同  
人  
誌

令和四年五月一日発行  
五月号

第 6 9 9 号

2 0 2 2 . 5

令和4年5月1日 柑芦同人誌 芦 火 第699号

清記を終えて 2

699号

○ 綾打(純二)さんの散歩道の自然。今月は早春の花木。

アセビ(馬酔木 垣根には白、ピンクが映える季節。ウンナンソケイ、可愛い花であるが知らなかった。サンシユウ 宮崎民謡「ひえつきまふし」に出てくる「庭の山椒の木はサンシユウと発音する。歌詞カードとは異なる。ややこしい。発音の方が正しいというのが地元の見解らしい。サンシユウ(山茶花)と書けば済むのに。

○ 今月の高得点者は温州さん「切り捨て御免」を「698号から697号清記」よりお願い致します。5月号の「切り捨て」は699号の清記欄にて行われましたので、申し訳ありませんがよろしくお願ひ致します。

○ コロナは蔓延防止の解除後も一進一退で終息が見えない。文句を言っても仕方ないので、自衛隊一。ワクチン、マスク、手洗い、三密避け しかない。若者の行動如何か。

○ 「夢判断」で知られるフロイトが第一次大戦をはさま、後の欧州の未曾有の惨禍を人間には、破滅を求める攻撃的な欲望があると指摘。ウクライナに侵攻した「独裁者」について

精神分析の声を欧州にある。侵略後一か月を越えて、ウクライナの景観は一変している。口で「打ち方やめ」を言うのは簡単である。しかし戦争に参加するには勇気、それも

蛮勇がいる。誰もが自分の子供を戦争で死なせたくなければ当然である。

○ ウクライナの頑強りは驚嘆を過ぎて、すさまじい。いくら他国の武器援助があるとはいえず、大統領の毅然たる態度、世界のメディアを使った情報戦があるとはいえず、国民の支持がなければ、持たない。欧州は昔から国境を接し、他国の侵略を受ける可能性が高く、国民に

国を守るとはどういうことが、身にしみていっていると思う。他国にやすやすと守られてきた島国日本とは生き方が根本的に異なる。

○ 今回ロシアが上手く侵略を収めた時、アジアでほくそ笑む大国がある。米国が手を出さねば侵略が出来る。侵略したところの、言論の自由はおろか生存の自由も保証されない。

ウクライナはそれを知っているから命をかけて戦っていると思はれる。

◎ 本月高得点者

24点 温州 18点 勝 15点 草炎 恵吾 13点 穂心

12点 史浩 要 11点 綾打(純二) 10点 共行 8点 六甲

◎ 本月高得点句

8点 湧水の砂の踊りや水温む

8点 目刺し十す浜の女の太き指

7点 包丁に苦味を残し春野菜

6点 あの人の来さうな浜辺春うらら

5点 ものの芽の日毎に違ふ貌みせて

惜しい！4点句 巢籠りや恵吾 啓景や勝 川野辺に要 三穂や燕行

亜麻色の温州 落梓温州

次号示匠(一切捨て御免)担当 一 温州

兼題 葉桜・花は葉に 初夏、花が散って若葉となったころの桜を言。花が散って葉桜

になってしまったという惜しむ思いと、桜若葉の美しさを愛する思いが交錯する季語である。

・葉桜の影ひろがり来深まり来 星野立子 葉さくらを奈良に一日の泊り客 葉村

・葉桜の雨しづかなり数かなり 九鬼あきら 葉桜を一人の若き巡査行く 黒田達子

・葉桜のまぶしき雨を仰ぎけり 高田正子 葉桜の中の無数の空さわぐ 篠原光

・葉桜や人に知られぬ昼遊び 永井尚風 花は葉に移ろひ来させを生まて 岸八正人

## ◆和歌山関連 ニュース

### ① おむすび店「むすび屋弥右エ門」がオープン

和歌山大の学生らでつくるプロジェクトチームが、和歌山県かつらぎ町志賀地区で手掛けた茅葺(かやぶ)き屋根の小屋が完成して29日、おむすび店「むすび屋弥右エ門」がオープンする。店を担当するのは2021年3月に大学を卒業し、同11月から地区に住み始めた松原主明さん(23)。米をはじめ食材は地元産を用い、店を軌道に乗せようと意気込む。目指すは「持続可能な地域」だ。

詳しくはコチラ <https://mainichi.jp/articles/20220428/k00/00m/040/140000c>

### ② 「和歌祭四百年式年大祭」特別展 江戸時代からの歴史振り返る

特別展「和歌祭四百年式年大祭 御神忌と大祭」が現在、和歌山大学紀州経済史文化史研究所(和歌山市栄谷)で開催されている。和歌祭を研究する吉村旭輝准教授は「和歌祭は江戸の終わりや戦争など時代の波に翻弄(ほんろう)されてきた。町民が参加する渡御行列は珍しい。400年を機に、江戸時代から続く歴史を知ってもらい、5月の四百年式年大祭を楽しんでもらえたら」と話す。

詳しくはコチラ <https://wakayama.keizai.biz/headline/2064/>

### ③ 観光学部など、「日本国際観光映像祭バーチャルツーリズム部門イベント」を開催

和歌山大学観光学部やスポンサー企業等により運営する日本国際観光映像祭バーチャルツーリズム部門実行委員会(実行委員長:尾久土正己和歌山大学観光学部長)は、次代のツーリズムを共創する場「日本国際観光映像祭バーチャルツーリズム部門イベント」を2022年5月17日に堺市で開催する。

詳しくはコチラ <https://yutosoken.com/wp/2022/05/09/genki-1/>

文・編 47 期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック

<https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会

東京支部柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00~18:00

土曜日:9:00~15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。e-mail: [tokyo@kourokai.org](mailto:tokyo@kourokai.org)